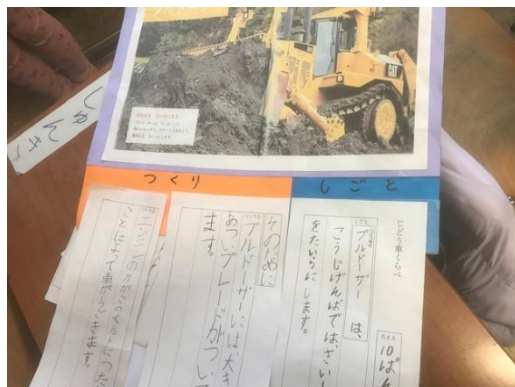




とねしょうかわらばん

がつ かぼん
12月10日版



1年生は、「じどう車くらべ」という説明文を国語で学習しています。「問い」に対する「答え」が列挙されている文章構成で

あることを学びます。その学習したことをもとに、教材に出てこない自動車の「どんな仕事をするのか（問い）」「そのためにどんなつくりになっているのか（問い）」に対する「答え」を自分たちで調べて文章にし、友達と話し合って一番わかりやすい「答え」の文章を選びます。（上の写真です。）



左の写真は、3年生の図工です。「グラデーション」の学習をしています。夕焼け朝焼けの空をイメージしながら赤を基調とした色のグラデーションを楽しく

学習しています。技法を一つずつ覚えることで、絵画への興味がより一層増します。



左の写真は、4年生の図工です。4年生は木版画にチャレンジです。初めて使う彫刻刀ですが、怪我をしないよう、教師の注意をよく聞いて、うまく手を

添えながら丁寧に彫っています。集中するとついつい力が入り、「先生！彫刻刀で指を怪我しました！！」という声がたまに聞かれます。



左の写真は、5年生の体育です。マット運動やとびばこ運動で大変重要になるのは「腕支持の力」と「踏切りの力」そして「腰を高く上げる」ことです。この学級では、体育館に、「腕支持」や「踏切り」「腰を高く上げる」ことが自然と身につくようサーキット形式で学習していました。

右の写真は、踏切版でしっかり足で踏み切って、腕でしっかり支えて高い舞台に飛び乗ります。



左の写真は、平均台を腕でしっかり支えながら腰を高く上げながら左右交互にジャンプして進みます。



このような場づくりをして基本的な「動き方」を身に着けながら、高学年では「マット運動」や「とびばこ運動」の各種の技に取り組みます。低学年の時期からこのようなサーキット学習を多く経験することで、「器械運動が苦手」という子がいないように成長させたいものです。